

★センターからのお知らせ★

◆横浜市は HIV(エイズ)の臨時検査を行います。

- 検査は全て無料・匿名です。
- 検査結果は一週間後に直接ご本人にお知らせします。電話・郵送ではお知らせしません。
- 匿名検査のため証明書は発行できません。
- 検査の詳細につきましては、各会場（実施機関）へお問い合わせください。
- 予約が必要な会場は、電話で必ず予約・確認のうえお越しください。（定員を設けている会場もあります。）
- 予約が不要な会場は、当日受付時間内に直接会場へお越しください。
- お問い合わせ・ご予約は次の時間をお願いします。月～金 8：45～12：00、13：00～17：00

検査日/結果日	受付時間	会場	検査項目(定員)	予約	最寄駅	予約・問い合わせ電話番号
12月5日(火) /12月12日(火)	10:00～14:00	金沢福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎(20人)	不要	京急線 金沢文庫駅 京急線・シーサイドライン 金沢八景駅	045-788-7840
12月5日(火) /12月12日(火)	14:00～14:30 /15:00～15:30	鶴見福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎(6人)	要	JR線 鶴見駅 京急線 京急鶴見駅	045-510-1832
12月5日(火) /12月12日(火)	18:00～19:30	横浜AIDS市民活動センター	HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎(なし)	不要	JR線/市営地下鉄 ブルーライン 関内駅	045-671-2729 (横浜市健康福祉局健康安全課)
12月6日(水) /12月13日(水)	9:30～10:00 /9:00～9:30	神奈川福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎(5人)	要	JR線 東神奈川駅 東横線 反町駅 京急線 仲木戸駅	045-411-7138
12月12日(火) /12月19日(火)	14:00～14:30 /15:00～15:30	鶴見福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎(6人)	要	JR線 鶴見駅 京急線 京急鶴見駅	045-510-1832
12月13日(水) /12月20日(水)	9:30～10:00 /9:00～9:30	神奈川福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎(5人)	要	JR線 東神奈川駅 東横線 反町駅 京急線 仲木戸駅	045-411-7138
12月19日(火) /12月26日(火)	14:00～14:30 /15:00～15:30	鶴見福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎(6人)	要	JR線 鶴見駅 京急線 京急鶴見駅	045-510-1832
12月20日(水) /12月27日(水)	9:30～10:00 /9:00～9:30	神奈川福祉保健センター	HIV・梅毒・B型肝炎・C型肝炎(5人)	要	JR線 東神奈川駅 東横線 反町駅 京急線 仲木戸駅	045-411-7138
2018年 1月16日(火) HIV即日検査 ※確認検査が必要な場合は結果一週間後	17:30～19:00	中福祉保健センター	HIV(なし)	不要	JR線・市営地下鉄 ブルーライン 関内駅 みなとみらい線 日本大通り駅	045-671-2729 (横浜市健康福祉局健康安全課)

◆平成 28(2016)年エイズ発生動向 年間報告(確定値)

厚生労働省エイズ動向委員会が2017年8月30日に発表した報告によると、平成28年の新規HIV感染者報告数は1,011件、新規エイズ患者数は437件、計1,448件(過去9位)でした。感染経路・年齢の動向は以下のとおり。

- ・新規HIV感染者：同性間性的接触によるものが735件(全HIV感染者報告数の約73%)、異性間が170件(同約17%)。特に20～30代が多い。
- ・新規エイズ患者：同性間性的接触によるものが241件(全エイズ患者報告数の約55%)、異性間が114件(同約26%)。特に30歳以上が多い。尚、50歳以上が約29%を占めている。

平成28年は、新規HIV感染者報告数及び新規エイズ患者報告数は横ばい傾向で、感染経路として、性的接触によるものがそれぞれ90%、81%でした。適切な予防、HIV感染の可能性があれば検査を受けることが大切です。

詳しくはエイズ予防情報ネットへ→ <http://api-net.jfap.or.jp/status/>

◆休館のお知らせ

臨時休館：11月18日(土)世界エイズデー in Yokohama 2017 開催のため

冬季休館：12月28日(木)～2018年1月4日(木)

※1月2日(火)の横浜市夜間検査も休みとなります。

HIV・エイズ、性感染症の正しい知識・最新情報をわかりやすく解説!

おーぷん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>

発行：横浜 AIDS 市民活動センター
公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。

〒231-0015 横浜市中区尾上町3丁目39番
地尾上町ビル9F / TEL: 045-650-5421
FAX: 045-650-5422 / E-mail: info@yaic.gr.jp
平日: 13:00～20:00 / 土・祝: 10:00～17:00
休館: 日/火
監修: 横浜市健康福祉局健康安全課

特集 UPDATE! エイズのイメージを変えよう!

★12月1日は世界エイズデー★ 横浜近隣でもさまざまなイベント!

横浜駅東口で街頭キャンペーン★世界エイズデー in Yokohama 2017
手作りレッドリボンコーナーや参加賞つきクイズラリーに参加しよう!
参加無料・入場自由だよ★

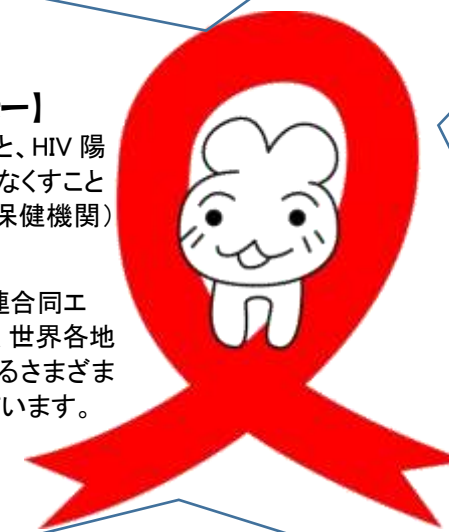
日時：2017年11月18日(土) 11:00～16:30
会場：新都市プラザ(そごう横浜地下2階正面入口前)
主催：横浜 AIDS 市民活動センター
参加団体：公益財団法人横浜YMCA、一般社団法人神奈川県臨床検査技師会 STI 予防啓発委員会、
認定NPO法人 AIDS ネットワーク横浜、認定NPO法人 SHIP、アジアの女性と子どもネットワーク



【世界エイズデー】

エイズのまん延防止と、HIV 陽性者への差別・偏見をなくすことを目的に WHO(世界保健機関)が決めました。

現在は UNAIDS(国連合同エイズ計画)が受けつぎ、世界各地で HIV・エイズに関するさまざまな取り組みが行われています。



神奈川県内・横浜市内での取り組み!

11月～12月、神奈川県内・横浜市内の各所で世界エイズデー関連の催しが開催されます! 学園祭 PR、区役所パネル展示、臨時検査(横浜市臨時検査情報は「センターからのお知らせ」を要チェック!) など!

くわしくは神奈川県 HP に掲載されている[2017 秋のかながわレッドリボン月間]をみてね!
URL: <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7037/>

東京で、TOKYO AIDS WEEKS 2017! NGO などが最新の知識やリアルな声を発信!

日程：2017年11月24日(金)～26日(日)
会場：中野区産業振興センター、なかの ZERO 小ホール
主催：TOKYO AIDS WEEKS 2017 実行委員会
くわしくは TOKYO AIDS WEEKS 2017 の公式サイトへ! URL: <http://aidsweeks.tokyo/>

特集 **アップデート！エイズのイメージを変えよう！**

HIV・エイズ、どんなイメージ？

みなさんは HIV・エイズという言葉を知って、
どんなことをイメージしますか？

いろいろなことが変わっている！

HIV・エイズに関して、さまざまなイメージがあることがわかりました。でも、そのなかには変わってきているものと変わっていないものがあります。

横浜 AIDS 市民活動センターはこれまで多くの学習会や研修を行い、
多くの参加者に HIV・エイズについていただくイメージを聞いてきました。

そのなかでよく出てきたイメージを**抜粋**してシェアします！

正直にかいて
えらい！

治らない
よく知らない
レッドリボン

感染症である
薬がよくなっている
薬害エイズ

死にいたる病
予防できる



アフリカで深刻

昔、有名な海外の歌手がエイズで亡くなった

性的接触で感染する

差別・偏見

最近ニュースで聞かない

学習会や研修では写真のようにポストイットを使いながら、参加者が
イメージを自由に書き出しました。正誤は考えずに書いてもらったため、
さまざまなイメージがでてきました。

全体的に HIV・エイズの病状や現状に対するネガティブなイメージが
多い印象です。なかには関心を持っていたり、勉強や仕事などで関わった
経験があってくわしい人もいますが、「ずいぶん前に知ったり、聞いたり
したときのイメージしかない。今はどうなの？」とか、「最近ニュースで話題に
ならないから、よくわからない」と話す人も多いです。

たしかに、薬害エイズ問題も含むニュースが盛んだった 1980 年～90 年代よりはニュース
は減っています。横浜 AIDS 市民活動センターは 1995 年オープンしていますが、当時の新聞
記事の量（センター所蔵）と現在を比べると明らかに当時のほうが多いのがわかります。

**HIV・エイズについての情報にふれて、
情報や知識を UPDATE する(アップデート:最新のものにする)
機会が少なくなっていることがわかります。**

みなさんはどうでしょうか？
HIV・エイズと聞いて、どんなことが頭に浮かびますか？

「なぜ、そのイメージがうかんだのだろう?」、「それは UPDATE されているかな?」
ということも考えてみてくださいね!



コムちゃんが
解説しよう!

左ページで出てきたイメージのなかで、特にみなさんに考えてもらいたい
項目について説明しますね!

① 治らない? 死にいたる病?? 薬がよくなっている!? こわい???

これらのイメージはどれが変わって、どれが変わっていないと思いますか?

過去には、HIV 感染しエイズを発症した多くの人が亡くなった悲しい時代もありました。しかし、現在は
治療法がとて進歩し、HIV 陽性者(HIV に感染している人)は早期発見・早期治療によりエイズの発症
を防ぎ、感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。つまり、HIV 陽性者の
生活は大きく変わったのです。こうした変化が正確な情報として広く伝わっていないのが現状です。

なお、HIV を体内から完全になくす方法は見つかっていないので、エイズを発症しないように定期的な
通院・治療が一生必要となります。治療には、毎日の服薬や副作用など注意することや金銭的な負担も
ありますが、さまざまな支援も受けられます。必要以上にこわがる必要はありません。

② アフリカで深刻!?

このように答えたのは、『アフリカなど海外で深刻というニュースをみた』という人が多かったです。

世界の陽性者(2016 年末 HIV 陽性者数は 3,670 万人)の約 70%をサハラ以南アフリカ地域が占めていま
す。また、2016 年にエイズで死亡した人は 73 万人と、深刻な状況は続いています。ただし、国際社会の
支援も得ながら、各国ではさまざまな努力がされており、全体的に報告数は減少しています。

日本では減って
いない...



一方、日本国内では、2016 年に報告された新規 HIV 感染者・新規エイズ患者は
1,448 件。統計開始以降増え続け、2007 年以降は 1,500 件前後で横ばい傾向が続
いていますが、減ってはいません。また、2016 年新規 HIV 感染者のうち 20 代～30
代の若い世代が約 62%を占めています。

HIV・エイズの流行は日本にとっても他人ごとではありません。

(参照:エイズ予防情報ネット「世界・日本の状況」)

③ 差別・偏見? レッドリボン!

『根拠はわからないけど、なんとなく差別・偏見が残って
いるのではと思う』という話をよくききます。

全国の HIV 陽性者を対象とした WEB 調査(参照:Furures Japan 調
査サマリー-2015.04.06)によると、「HIV 陽性であることを誰かに打ち明
けることは危険なことである」と考える人は 81.4%、「HIV 陽性
であることを雇い主や上司に知られると職を失うと思う」と考
える人は 62.9%でした。HIV に対する社会からの偏見を感じ、
「生きづらさ」を感じている人が多いということです。

一方、レッドリボン(赤いリボン)は HIV・エイズと共に生きる
人々への理解と支援の気持ちをあらわします。HIV・エイズに
「偏見をもっていない、差別をしない」というメッセージです。レ
ッドリボンについてたくさんの人に知ってもらいたいですね。

HIV・エイズのイメージを変えるには、
一人ひとりがもう少し関心をもって情報・
知識を UPDATE すること、周囲と話して
みるのが大事なんだ!

12月1日世界エイズデーが
良い機会だね!

コムちゃんも
レッドリボンを
つけてみたよ

